

特定非営利活動法人

輝く猪苗代湖をつくる県民会議

令和2年度 通常総会資料

次 第

日時 : 令和2年5月30日(土)

場所 : 新型コロナウイルス対策のため書面による開催、採決

新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため、国は4月7日に7都道府県を対象にした緊急事態宣言を発出し、4月16日には全国に拡大した。5月7日には5月末まで宣言を延長し、国民に“3密”の回避、不要不急の外出自粛を要請していることから、総会を書面開催とする。

1 開 会

2 理事長あいさつ(あいさつ書面の配布)

3 議 題

第1号議案 令和元年度活動報告について

第2号議案 令和元年度活動決算報告について

第3号議案 令和2年度活動計画(案)について

第4号議案 令和2年度活動予算(案)について

4 第1号から第4号までの4議案の提案理由等に関する書面説明

5 上記4議案に関する質疑及び賛否について、総会資料の配布時に同封した用紙により返信していただきたい旨の書面説明

6 閉 会

第1号議案

令和元年度活動報告について

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

令和元年度の活動の主な執行状況は、次のとおりである。

I 会議等の開催

1 令和元年度 通常総会

日時：令和元年6月1日（土）13：30～

場所：猪苗代町地域交流センター 大会議室（猪苗代町）

《 議題 》

- ・平成30年度事業報告・同活動決算報告
- ・役員選出
- ・令和元年度事業計画(案)・同活動予算(案)

2 理事会

(1) 第1回理事会

平成31年4月17日（火）17:00～18:30 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・平成30年度事業報告・活動計算書の案の確認、令和元年度事業計画・予算書案について検討
- ・主たる事務所所在地を中村理事長宅に変更し、移転日は令和元年6月1日とする。
- ・須藤隆一博士を参与（定款上はサポーター）として迎える。

(2) 第2回理事会

令和元年年6月1日（土） 14：40～14：50 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・理事長及び副理事長の互選（理事長に中村玄正、副理事長に長澤金一を選任）

(3) 第3回理事会

令和元年9月23日（月） 17:00～18:30 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・10月5日(土)から開始する漂着水草回収活動に向けての準備状況の確認
ダンプトラックの借用手配、役員の活動日ごとの出席予定、不足資材の購入
マスコミなどへの依頼 等
- ・漂着ヒシの実回収、ヨシの有効利用、COD低減・大腸菌群対策等について意見交換

(4) 第4回理事会

令和元年11月22日（金） 17：00～19：00 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・漂着水草回収活動の実施状況報告・反省点等の検討
- ・今年度の残り期間の活動、来年度の活動計画の方向性

- ・ NPO活動の5つの柱の確実な実践に向けた体制、組織運営の充実等について
- ・ NPO会計の執行状況

(5) 第5回理事会

令和2年3月8日(日) 14:00~16:40 於:猪苗代事務所

《 議題 》

- ・ 次年度以降の水質改善県民活動(漂着水草回収、ヒシ殻回収、繁茂ヒシ回収)の検討。水草回収は10月3日(土)~11月8日(日)に実施。
- ・ 猪苗代湖の現状認識(COD上昇によるランク外の懸念、硫酸成分の流入量の低値安定、生活排水と農業排水の負荷の低減、浄化槽改正・施行に併せた要望活動)
- ・ 水質研究活動(ヒシ繁茂状況の確認とCOD負荷の推定など)
- ・ 広報啓発活動(湖南小学校への支援、RCのインターフェイスへの協賛)

II 特定非営利活動

1 水質改善県民活動

(1) 漂着水草回収活動

国際ロータリー第2530地区と猪苗代ロータリークラブの全面的協力を得ながら実施したが台風19号の被災により、10月12、13日の作業は中止した。

実施期間: 令和元年年10月5日~11月10日の毎週土・日曜日+α 延べ11回

参加人数: 1,113名 水草回収量: 174.3 m³ (コンテナ数: 4,636箱)

(2) ヒシの実(殻)除去作業の試行実施

有志4名により松橋浜に大量漂着しているヒシの実について、選別回収方法を検討しながら回収した。

日 時: 令和元年6月22日(土) 10:30~11:30

場 所: 猪苗代湖松橋浜青浜北側エリア

(3) 他団体との協力による清掃活動・交流活動等

- ・ 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催(福島県産業廃棄物協会、猪苗代町等の共催)の「猪苗代湖クリーンアクション2019」に参加した。

令和元年4月13日(土) 天神浜、小黒川河口 他

6月22日(土) 舟津浜、

- ・ アサザ保護のためのヒシ刈り取り作業(猪苗代湖の自然を守る会主催)に適宜参加した。

令和元年7月19日~9月13日の毎週金曜日に開催 三城潟~高梁川河口の湖岸

- ・ 紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト会議(県庁主催)に参加し活動状況を発表した。

令和元年7月5日(金) 猪苗代町役場 正庁

2 水質研究活動

(1) 猪苗代湖湖心における深層部の水質調査

有志3名により湖心の深層部の鉛直水質調査を実施。調査結果は猪苗代湖学活動などで発

表する。

実施日：1回目 令和元年8月20日、2回目 9月21日、

3回目は台風19号災害の影響で中止

(2) 日本水環境学会への参加、研究成果の発表(3月16～18日 盛岡市で開催予定)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 令和元年度日本大学工学部学術研究発表会での発表

12月7日に日本大学工学部で開催され、中村理事長、藤田理事が上記の猪苗代湖湖心の調査結果等を整理・評価した成果等を発表した。

3 子ども及び青少年の環境保全支援活動

(1) 郡山市立湖南小学校の環境教育支援活動

湖南小学校4年生14名エコクラブ活動への講師派遣とうの支援を実施。

・7月8日(月) 鬼沼での生物調査

・9月6日(金) かめ丸による湖心や浜路浜、青松浜等の湖岸での簡易水質調査
透明度18.5mを観測。近年は最良でも15m程度なので貴重な記録。

・10月29日(火) 淡水魚水族館「カワセミ館」の見学

・11月16日(金) 猪苗代湖子ども交流会2019(於：会津稽古堂)での報告会

(2) 県内大学水泳部による猪苗代湖体感水泳大会(猪苗代ロータリークラブ協賛)

次世代を担う大学生に猪苗代湖と水環境保全の重要性を体感してもらい、水環境保全を県民に語りかける存在として社会に羽ばたいてもらうことを目的として、次のとおり実施した。

実施日：令和元年9月1日(日)

参加大学：会津大学、日本大学工学部、福島県立医科大学、福島大学の水泳部員24名

実施内容：清澄な水質を体感するための長浜沖から長浜までの遠泳

情報発信：ドローンによる動画空撮(平成28、29年度)はYouTubeで発信中

キーワード「猪苗代湖」「水泳大会」で接続可能。 <https://youtube.com/>

4 猪苗代湖学 県民講座の開催

日本大学工学部との共催により、10名の発表者による発表会を開催し、約60名が参加した。

日 時：令和元年8月31日(土)10:00～16:35

場 所：日本大学工学部50周年記念館「ハットNE」大講堂

5 その他の活動

広く県民や国民に「輝く猪苗代湖をつくる県民会議の活動を周知するため、活動成果の取りまとめや発信に積極的に取り組む必要があるが、マンパワーや活動資金の安定的などに課題があり、改善していく必要がある。

第2号議案

令和元年度 活動計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I. 事業活動収入の部	2,826,302	3,076,932	250,630	
1. 会費収入	65,000	50,000	-15,000	
正会員受取会費	60,000	45,000	-15,000	15人×@3,000
賛助会員受取会費	5,000	5,000	0	(株)クラリオンマニュファクチャリング*
2. 補助金等収入	950,000	950,000	0	
補助金・助成金	950,000	950,000	0	河川財団、湖美来基金、下水道公社
3. 寄付金等	100,000	370,000	270,000	
寄付金	100,000	370,000	270,000	オリジナル設計(株)、(株)建設環境建機、福島ニチレキ(株)
4. 事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
5. 雑入	21,882	17,512	-4,370	
雑入	21,882	17,512	-4,370	水泳大会参加者負担金 他
6. 前期繰越金	1,689,420	1,689,420	0	固定資産(軽自動車簿価)を含む。
II. 事業活動支出の部	1,359,854	1,587,916	228,062	
1. 事業費支出	1,339,854	1,563,076	223,222	
旅費交通費	50,000	0	-50,000	交通機関利用の実費負担 他
通信運搬費	80,000	96,176	16,176	電話代、切手代
消耗品費	200,000	354,919	154,919	タオル、ヒシ回収用資材 他
印刷製本費	50,000	7,500	-42,500	活動報告書 他
賃貸料	180,000	141,955	-38,045	現地事務所賃借料 他
諸謝金	120,000	65,000	-55,000	車両借り上げ 他
委託料	350,000	365,105	15,105	事務補助委託、HP開設
イベント費	40,000	299,393	259,393	水泳大会
会議費	20,000	5,100	-14,900	総会会議会場使用料
保険料	100,000	67,710	-32,290	傷害保険、自動車保険
支払手数料	10,000	10,364	364	公文書交付、銀行振込
減価償却費	124,854	124,854	0	軽自動車(定率法)
公租公課	5,000	25,000	20,000	軽自動車税、過料(理事の重任申請)
諸会費	10,000	0	-10,000	
2. 受託事業支出	0	0	0	
3. 予備費	20,000	24,840	4,840	軽トラ フロントガラス修理
次期繰越収支差額	1,466,448	1,489,016	22,568	

貸借対照表

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	1,489,015		
流動資産 合計		1,489,015	
2. 固定資産			
車両運搬具(軽ダンプ)	1		
固定資産 合計		1	
資産の部 合計			1,489,016
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債 合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債 合計		0	
負債の部 合計			0
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,689,420	
当期正味財産増減額		-200,404	
正味財産の部 合計			1,489,016
負債及び正味財産合計			1,489,016

財務諸表の注記

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協会)によつています。

(1) 固定資産の減価償却方法

固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によつています。

2 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首 取得価額	取得	減少	期末 取得価額	減価償却 累計額	期末 帳簿価額
車両運搬具	1,198,611	0	0	1,198,611	1,198,610	1
合計	1,198,611	0	0	1,198,611	1,198,610	1

財産目録

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

令和2年3月31日現在

(単位:円)


科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	12,722		
普通預金 東邦銀行郡山営業部	1,476,293		
現金・預金 計	1,489,015		
流動資産 合計		1,489,015	
2. 固定資産			
車両運搬具(軽ダンプ)	1		
固定資産 合計		1	
資産の部 合計			1,489,016
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債 合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債 合計		0	
負債の部 合計			0
正味財産			1,489,016

監 査 報 告 書

定款第 15 条第 4 項の規定に基づき、令和元年度における業務及び会計執行状況について監査を実施しましたが、その結果を下記のとおり報告いたします。

令和 2 年 5 月 1 4 日

特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議

監 事 長尾下モ子  印

記

- 1 監査を実施した日時
令和 2 年 5 月 1 4 日（木） 1 4 時 0 0 分～1 4 時 4 0 分
- 2 監査を実施した場所
福島県庁 副議長室
（福島市杉妻町 2 番 1 6 号）
- 3 監査の対象
令和元年度における財産の状況、業務執行の内容、収入支出等会計執行状況の適否
- 4 監査意見
令和元年度の業務執行状況と関係諸帳票、証拠書類について監査した結果、内容は適正と認める。

第3号議案

令和2年度活動計画について（案）

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

I 活動実施の方針

「輝く猪苗代湖をつくる」理念を念頭に、猪苗代湖の水質日本一復活を目指し、昨年度に引き続き、猪苗代湖の水質改善活動を広く県民に参加を呼び掛けて実施するとともに、猪苗代湖流域の「水や有機物の循環型社会構築」を視野において、地域資源の価値を再確認する活動を広く展開する。

II 会議等の開催

1 通常総会

開催日時：令和2年5月30日（土）書面採決締め切り

開催場所：新型コロナ対策の「3密」を回避するため、書面による開催により採決で催行

2 役員会

事業の円滑な実施のために、第2回目以降は適宜開催する。

第1回役員会 令和2年4月18日（土） 於：猪苗代事務所

III 特定非営利活動

1 水質改善県民活動

（1）漂着水草回収活動

国際ロータリー第2530地区（福島県）と猪苗代ロータリークラブの協力を得ながら、県内の団体や個人等の参加を募り、次のとおり実施する。

時期：令和2年10月3日（土）～11月8日（日）の毎週土・日曜日 延べ12回

場所：天神浜、松橋浜（松橋青浜） 他

延べ参加人数（目標）：1,500人

（2）湖岸美化活動（漂着ヒシの実の回収等）

松橋浜から天神浜にかけて漂着ヒシの実の回収作業について、昨年度の試行的実施を踏まえ、本年度も5月下旬～6月に実施することを検討しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止へ協力のため、柔軟に対応する。

（3）北部湖岸ヨシの景観向上・繁茂抑制・有効利用等に関する検討の水深

水辺に繁茂するヨシの刈り取り・回収、ヨシ焼き、ヨシの有効利用の方向性について、一昨年度の意見交換を踏まえ、関係機関とさらに合意形成を進めて景観向上に資するとともに、総合計画を策定して具体的に着手を目指す。

（4）他団体との協力による清掃活動

他団体が主催する清掃活動等に積極的に参加するとともに、共催による参画も前向きに検討する。

2 水質研究活動

(1) 北岸域のヒシ等の水生植物のCOD負荷量の定量的把握に関する研究

北岸の浅層域における水生植物の繁茂状況を定量的に把握し、植物種ごとの窒素、リン、有機物量（CODなど）の汚濁負荷原単位を求め、湖内負荷生産量の定量的評価を行う。なお、調査に際しては、水中ドローンの活用も検討する。

これらの成果は、発表会や学会、広く県民等に情報発信するとともに、関係行政機関に対する水質汚濁対策に関する提言にも活用する。

(2) 猪苗代湖の水質改善に向けての検討会の開催

大腸菌群数を環境基準値内へ抑制すること、CODを1.0mg/L未満に抑えることを目標にして、水質研究や実践活動の方向性を検討するための会合の開催（共催）を目指す。

3 子ども及び青少年の環境保全支援活動

昨年度に引き続き、次の活動を実施する。

- (1) 湖南小学校のエコクラブ活動への支援を中心とした青少年の水環境教保全活動の支援
- (2) 県内大学水泳部による猪苗代湖水質体感水泳大会を8月下旬に開催する。
- (3) 市民大学講座、大学や高校、各種団体等での環境学習講座へ講師派遣

4 地域資源活用活動

猪苗代湖岸のヨシを地域資源として活用できないかの検討を進める。

5 猪苗代湖学活動

ロータリークラブが実施予定のインターシティーミーティングのシンポジウム（11月28日開催予定）に協賛することで、猪苗代湖に対する水環境改善活動をPRしていく。

また、日本大学工学部などと連携した県民講座の開催を目指す。

6 その他の活動

上記の5つの基本活動を実践し、本会の目的を達成するため、本会の活動の趣旨に賛同する団体や企業、マスコミ、行政との連りながら、会の活動の広報・周知のため、次の活動を実施する。

- (1) 本会の組織体制を強化するとともに、会の活動の広報・周知方法を工夫しながら実践に努める。
- (2) 猪苗代湖の有機物の水質汚濁負荷量低減のため、大幅改正され本年4月に施行された浄化槽法の積極的運用を行政機関に要望していく。
- (3) 本会の活動に理解や協力を惜しまず、多大な貢献がある支援団体に対して謝意を表すことを検討して実践する。

第4号議案

令和2年度活動予算書(案)

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

(単位:円)

科 目	予算額	元年度決算額	増 減	備 考
I. 事業活動収入の部	2,994,016	3,076,932	-82,916	
1. 会費収入	65,000	50,000	15,000	
正会員受取会費	60,000	45,000	15,000	20人×@3,000
賛助会員受取会費	5,000	5,000	0	1人×5,000
2. 補助金等収入	1,120,000	950,000	170,000	
補助金・助成金	1,120,000	950,000	170,000	河川財団、湖美来基金、下水道公社、イオン財団
3. 寄付金等	300,000	370,000	-70,000	
寄付金等	300,000	370,000	-70,000	資源循環協会
4. 事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
5. 雑入	20,000	17,512	2,488	
雑入	20,000	17,512	2,488	
6. 前期繰越金	1,489,016	1,689,420	-200,404	
II. 事業活動支出の部	1,350,000	1,587,916	-237,916	
1. 事業費支出	1,330,000	1,563,076	-233,076	
旅費交通費	50,000	0	50,000	交通機関利用の実費負担 他
通信運搬費	100,000	96,176	3,824	電話代、切手代
消耗品費	300,000	354,919	-54,919	タオル、ヒシ回収用資材 他
印刷製本費	10,000	7,500	2,500	活動報告書 他
賃貸料	210,000	191,955	18,045	現地事務所賃借料 他
諸謝金	110,000	65,000	45,000	車両、調査船借上げ 他
委託料	338,000	365,105	-27,105	事務補助委託、水草運搬
イベント費	90,000	249,393	-159,393	水泳大会 他
会議費	10,000	5,100	4,900	会議会場使用料
保険料	82,000	67,710	14,290	傷害保険、自動車保険
支払手数料	15,000	10,364	4,636	公文書交付、銀行振込
減価償却費	0	124,854	-124,854	定率法
公租公課	5,000	25,000	-20,000	軽自動車税 他
諸会費	10,000	0	10,000	
2. 受託事業支出	0	0	0	
3. 予備費	20,000	24,840	-4,840	
次期繰越正味財産額	1,644,016	1,489,016	155,000	